

機械器具 1 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ JMDNコード: 70469000
下肢牽引装置 DR-8800-A

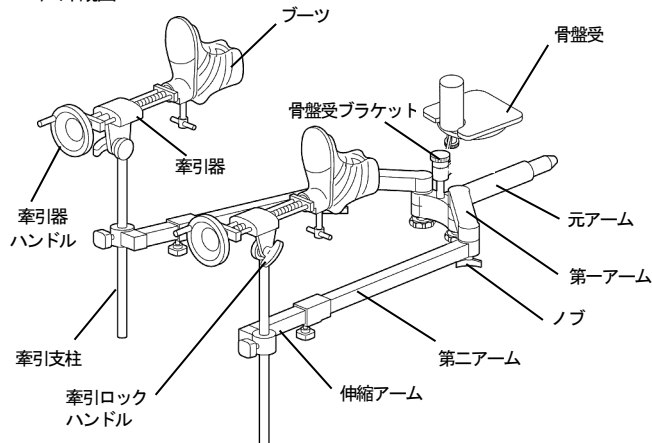
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社製の手術台 DR-8800 以外には取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

** 1) 外観図



2) 機器の仕様

最大牽引力 400N (40kgf)

** 〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。

周囲温度 10~40℃ 相対湿度 30~75% 気圧 700~1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は手術台に付属するアクセサリで、主に整形手術時に下肢を牽引するために使用します。

** **【使用方法等】**

- ①手術台本体に取り付ける。
- ②第一アーム、第二アーム、伸縮アームを調整し固定する。
- ③牽引支柱を取り付け、高さを調整する。
- ④牽引ロックハンドルで牽引器を固定する。
- ⑤牽引器ハンドルでスライドの位置調整を行う。
- ⑥牽引器を上下させ固定する。
- ⑦ブーツを回転し固定する。
- ⑧骨盤受ブラケットを回転し固定する。

【使用上の注意】

** 〈重要な基本的注意〉

- ** ①患者および使用者の手・指・身体・衣服の一部を機器の可動部や可動部の周辺に近寄らせないこと。[挟まれて人身事故の原因となります。]
- ** ②各部アームの端に腰掛けたり、過度の荷重をかけたりしないこと。
[故障や転倒の原因となります]
- ③第一アームと第二アーム間のノブを必要以上にゆるめ過ぎないこと。
[ゆるめ過ぎると第二アームが落ちたり、旋回し指を挟むなどの恐れ事故の原因になります。]
- ④骨盤受ブラケットを差し込むときは、差し込み支柱の△印と関節部の△印の方向を合わせ穴に入れ、支柱が回らないことを確認すること。[回転の固定ができず思

わめ事故の原因となります]

⑤下肢牽引装置を手術台本体に取り付けたまま収納する場合は、手術台の脚板を下げないこと。[脚板の破損の原因となります。]

⑥牽引操作前には各部ハンドル・ノブを確実に締め付けること。[ゆるんだ状態で機器を操作すると恐れ事故の原因となります。]

** ⑦消毒の際、金属腐食性の強い消毒液（ポビドンヨード（イソジン液））などは絶対に使用しないこと。[故障の原因となるおそれがあります。]

** ⑧消毒に次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は以下の注意事項を守ること。

- ・噴霧はしない。
- ・次亜塩素酸ナトリウム（0.1%）を含ませたやわらかい布で拭く。
- ・消毒を行ったあとは、アルコールによる拭き取りを行う。[色落ちやサビの原因になります。]

** ⑨有機溶剤を含有する洗剤などでの清掃は行わないこと。

その他、詳細については取扱説明書をご確認ください。

** **【保管方法及び有効期間等】**

* 〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は10年間です。（自己認証（当社データ）による）
- ※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。
- ・クッション部品は使用環境によって異なります。

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ずお読みください。

** 〈使用者による保守点検(日常点検)〉

頻度	内容
使用前	設置状態の確認
	外観状況の確認
	作動状況の確認
	その他の確認
使用后	清掃作業を行う。（使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール（70%）、塩化ベンザルコニウム（0.1~0.2%）があります。）

** 〈業者による保守点検〉

1年ごとの業者による保守（定期）点検は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラメディカル株式会社

TEL : 06-6499-3461

販売業者

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。